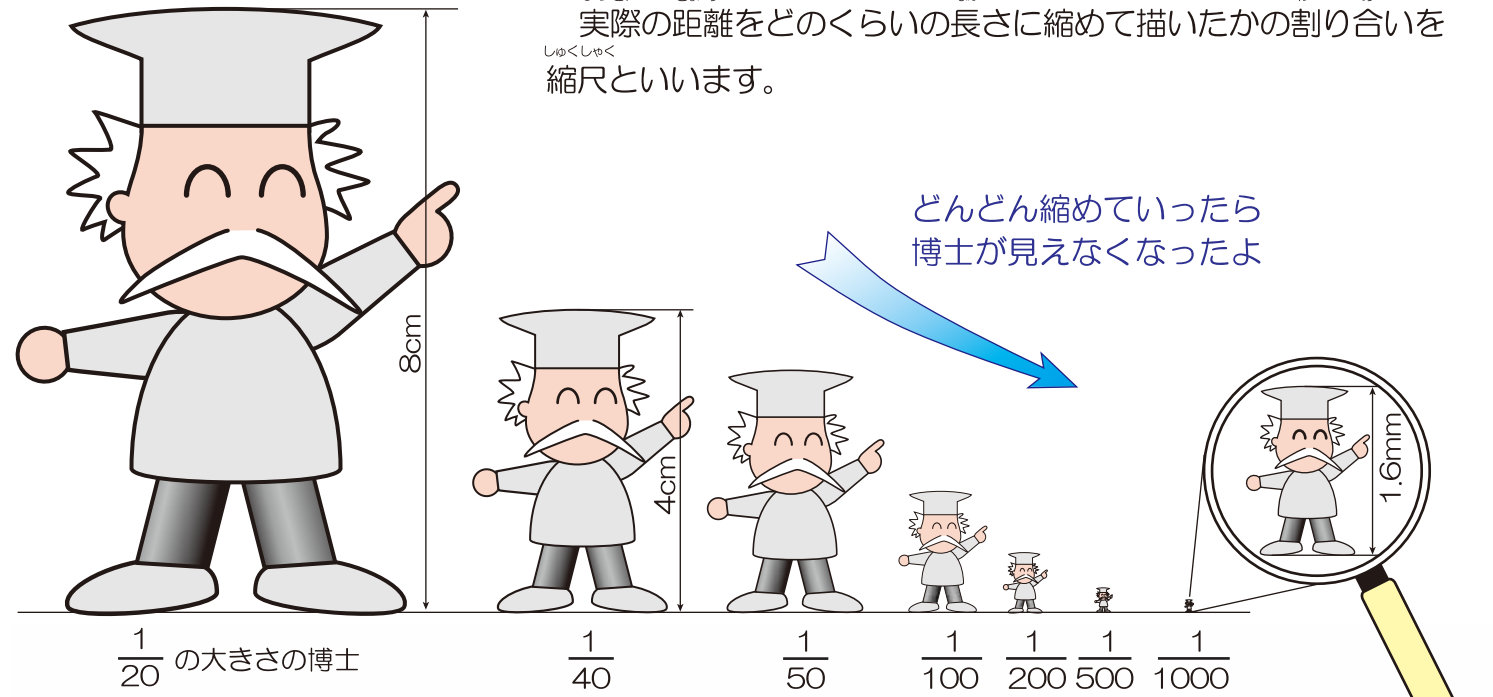


大地を小さく縮めて描く

身長160cmの博士を縮めて描いてみると・・・

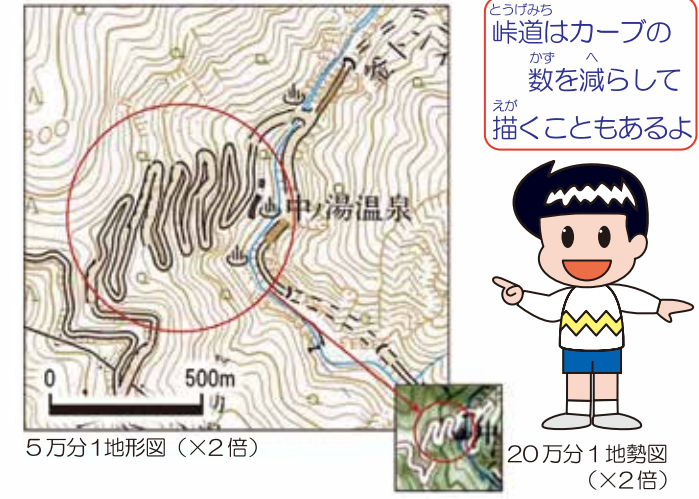


地図を描く紙や、地球儀の大きさは限られています。そこで、地図では地上などにあるものを小さく縮めて表すことになります。実際の距離をどのくらいの長さに縮めて描いたかの割り合いを縮尺といいます。

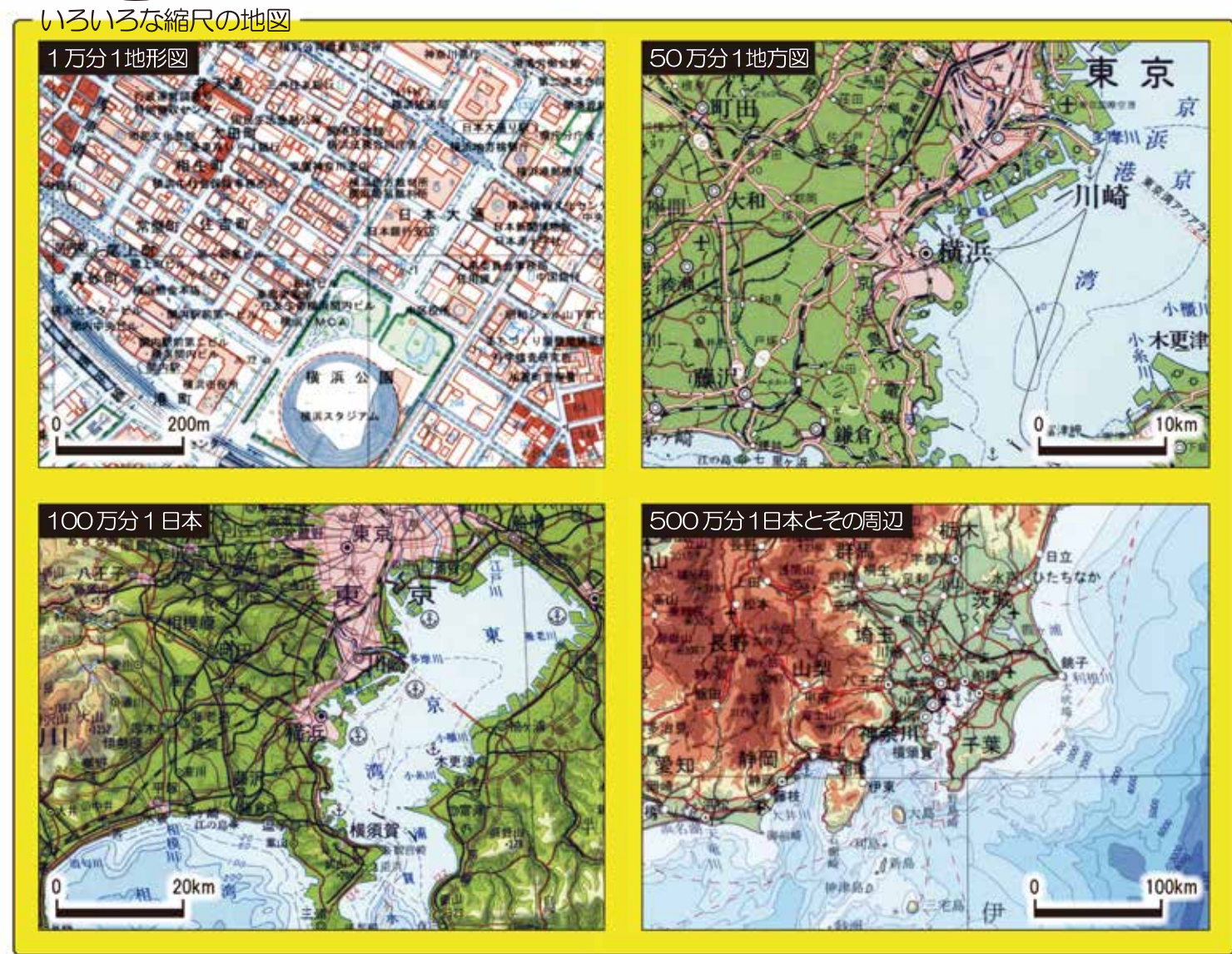
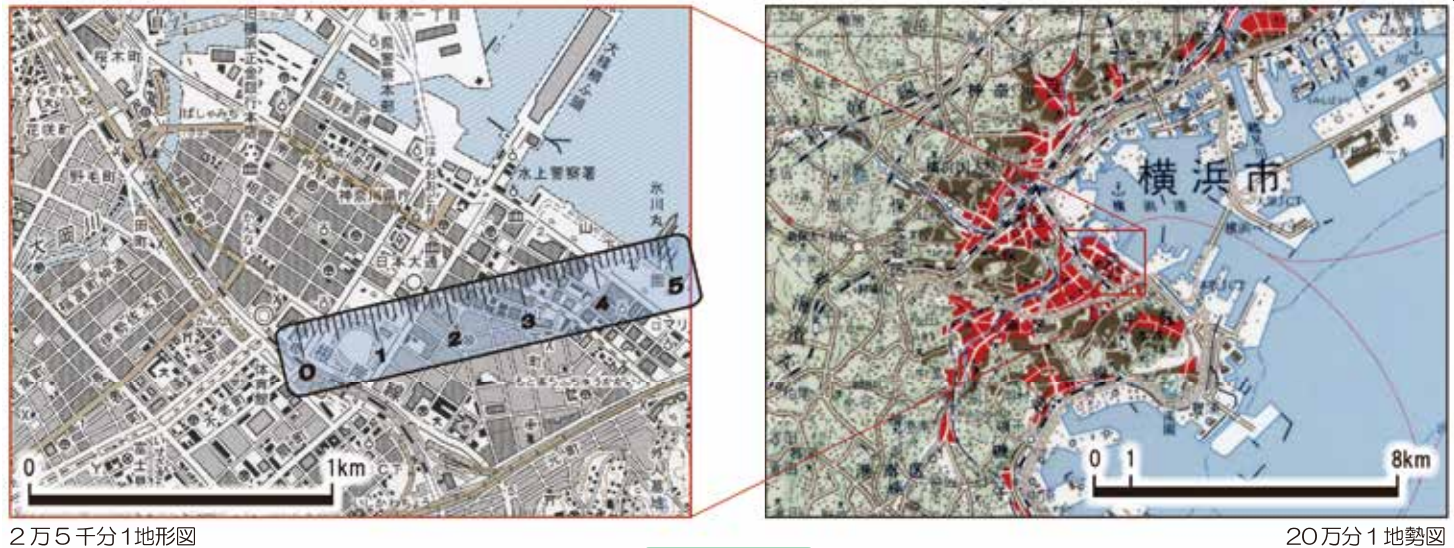
小さくても大事なものは大きく描く

地図は縮めるほどに土地のようすをありのままに表すことができなくなります。そこで、小さくても大事なものは、実際の割り合いよりも大きく描いたり、記号をつけて表したりします。

三角点の標石が地上に見えている部分は、15cm ぐらいの大きさじゃから、2万5千分1地形図にそのままの縮尺で描くと、「点」でも書けないんじゃないや。でも、地球上の位置を示す大事な基準点じゃから、地図には大きくして記号で描いとるぞ



縮尺がちがうと地図はどうなるの



大きい縮尺 ← 縮尺の呼び方 → 小さい縮尺

4cm 1kmの距離の地図上の長さ 0.5cm まちの中の細かい道路とか描かれていないものがあるね

くわしい ← 地図の内容 → おおまか

せまい ← 地図の範囲 → ひろい

市役所から氷川丸までは約5cmだから、実際の距離はおおよそ1.25kmだね